

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：大村精二 幹事：佃 一成

情報委員長：中村三次

1984・6月14日 第267号

犀星とふるさと

作家 室生 朝子 氏



父犀星は、昭和37年3月26日亡くなり、お骨となって故郷に帰った時、大変歓迎されました。

しかし、犀星は故郷を捨てた男だという方もおられたが、決して故郷を捨てたものではなかった。

31年「杏子」を書いた頃、小説新潮より金沢での講演の企画があったが、犀星は28年よりひどい胃潰瘍を患い、食事療法のこともあり医師からも止められ、やむなく中止のやむなきに至った訳であり、

母も金沢池田町の生れだったから、言葉少なな中にも、話題はいつも金沢に飛んで共通の思い出を大切にしていた。

母が34年に亡くなり、35年母のお骨を野田山の墓に納めに金沢に来た。ちょうどその時文芸春秋の講演会で、円地文子、高見順のお二人と共に、はじめて人前で講話をしたのが北国講堂であった。金沢に母のお骨を納めたことについて、当時新聞、ラジオ、テレビが大きく取り上げて大歓迎して下さったのだが、そんな話を聞いて、とてもはにかみ屋の犀星は、もうわしは金沢に帰れなくなったねともらしたものである。

私は、父の死後15年かかって全作品の87%まで調べ上げ、年表を作りながらいろいろな人にも会い、お話も聞き、作品を拾って来た。

明治37年、北陸新聞の俳句の投句にはじまる犀星の詩や文学とのかかわりの第一歩として、金沢はふるさととして、切り離なすことの出来ないものである。実際には犀星と一緒に旅したこともなく、私を一度も金沢につれて来たこともなかったが、18年「あきつ」という雑誌の野芹という小説の中で、娘と一緒に金沢へ行ったという話を書いていることから、本当は娘と一緒に金沢へ来たがっていたことが判った。その小説の中で「50才位にならないと判りかねる景色があるものだ。それは30代でも40代では判らない景色なんだよ。つまり景色は人間の年輪に平行して絶えず変っていく感じを与えるものなんだよ。……感覚に年輪があるんだよ。……」と書いている。

ふるさとの景色に向ってこんな娘がいるんだよと語りかけたかった犀星の心が、23年経ったいまやっと私に判って来た。

犀星文学の底には、金沢で生れ育ったそのことが、芯の強いものとなって流れており、決してふるさとを捨てた人ではなかった。

(金沢北RC例会講話より)

私の職業奉仕

土田 安一



昭和30年に私が現在の金沢美大を卒業し、東京の歌舞伎座にお世話になり、ようやくこの仕事を一生の職業と決心した時に親父に先立たれ、この道に入り早や28年が過ぎました。私は3つの頃から舞台裏に出入りし、親父の仕事を見ながら何となく自分に合わない気がしていました。しかし、どんな職業でもその人の性に合う、合わないがあり、特に私達の仕事はそれが大切だと思うのです。

私達の仕事は、一言に言って奉仕に始まり奉仕に終わります。1つは観客の皆様、1つは出演者の皆様、そしてもう1つは主催者の方(特に予算)に対する奉仕の精神です。

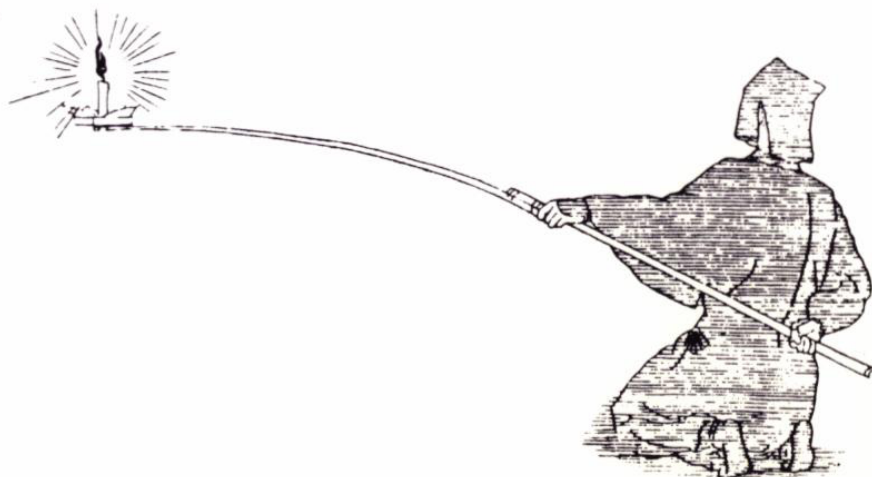
最近のテレビの発展により、観客の皆様が目も耳も鋭くなり、次々と新しいものが要求されます。その上に会場の機構(大きさ、広さ、高さ、吊り物、廻り舞台、セリ舞台等)の中で、いかに出演者を引き立てるか工夫が必要です。今、その中から舞台装置だけを取上げてみると、舞台美術家、大工さん、張屋さん、塗り方さん、絵かきさん、大道具さん、小道具さん等がいます。東京など大都会ではその分野でそれぞれ独立しておりますが、ここ金沢では一切を兼ねて仕事をしなければなりません。

さらに私の専門分野であります絵かきという仕事1つをとってみても、その舞台の用途により日本画風、洋画風、時には抽象画風、具象画風、そして児童画風なども画かねばなりません。常に勉強であり、常に努力し技術の向上に心掛けねばならないのです。

このように舞台にはこの他にまだまだ多くの要素があり、多くの人間が色々な角度から色々な仕事に参加しております。

そしてその多くの要素には経費がかかります。スタッフの演出料、舞台美術費、照明、音響プラン料、舞台監督料等、別に会場費、宣伝費、交通費、宿泊費等、最も大きいものでキャストの出演料があります。その他に「大道具、製作費」、衣裳代(カツラ、顔師)、小道具代等数多くあります。これらの経費と予算をいかにうまく溶け合わせるか、そして最少の経費で最大の効果をあげるにはやはり奉仕の精神でお答えするしかないのです。

最終的には、出演者と観客そして主催者が一対となり、すばらしい催物に作り上げて行くことが私達の仕事であり、しかも短い時間の中で皆様方に心から喜んでいただけることが職業奉仕へとつながるのではないのでしょうか。



金沢5RCゴルフコンペ

当クラブ団体優勝、個人優勝木村丹二君

第24回金沢5RC合同ゴルフ大会は6月3日(日)、片山津ゴルフクラブ日本海コースにて72人の参加のもと、盛大に行われ、当クラブ2年振りに団体優勝し、又個人優勝も木村丹二会員が9アンダーの好スコアで獲得した。

- 団体 優勝 金沢北RC -13
 2位 金沢南RC -12
 3位 金沢東RC -11
- 個人 優勝 木村 丹二 (金沢北RC) 63 N
 2位 目良 毅 (金沢南RC) 66
 3位 桜井 一美 (金沢南RC) 67
 4位 安達 洋 (金沢東RC) 67
 5位 竹村 吉高 (金沢 RC) 68
 6位 中井 外志郎 (金沢 RC) 68
 7位 安宅 雅夫 (金沢北RC) 68



5月例会出席状況

出席率 98.13%

会員名	月日	5/10	5/17	5/24	5/31	5月	会員名	月日	5/10	5/17	5/24	5/31	5月
浅田	豊久	○	○	○	○	◎	岡田	林太郎	○	○	○	○	◎
浅野	弘明	○	○	○	○	◎	乙村	舜吉	○	○	○	○	◎
安宅	雅夫	○	○	○	○	◎	坂下	直人	○	○	○	○	◎
出島	敬識	○	○	○	○	◎	桜井	健太郎	○	○	○	○	◎
二木	正樹	○	○	○	○	◎	沢田	哲夫	○	○	○	○	◎
合田	昌英	○	○	○	○	◎	関田	三稔	○	○	○	○	◎
春田	義正	○	○	○	○	◎	柴田	三郎	○	○	○	○	◎
長谷川	塑美	○	○	○	○	◎	清水	水村	○	○	○	○	◎
本市	江川	○	○	○	○	◎	下塩	村喜	○	○	○	○	◎
飯野	健志	○	○	○	○	◎	鈴木	木透	○	○	○	○	◎
石丸	幹夫	○	○	○	○	◎	庄田	厚郎	○	○	○	○	◎
磯貝	貞吉	○	○	○	○	◎	新高	正満	○	○	○	○	◎
上金	次平	○	○	○	○	◎	高嶋	菊丸	○	○	○	○	◎
木子	新光	○	○	○	○	◎	滝山	憲三	○	○	○	○	◎
木村	丹二	○	○	○	○	◎	館外	松代	○	○	○	○	◎
木下	和吉	○	○	○	○	◎	俵土	安一	○	○	○	○	◎
小林	隆二	○	○	○	○	◎	土原	一成一	○	○	○	○	◎
小間	井尚	○	○	○	○	◎	土田	栄彦	○	○	○	○	◎
小越	田好	○	○	○	○	◎	佃釣	一信	○	○	○	○	◎
越元	陽二	○	○	○	○	◎	上野	安三	○	○	○	○	◎
越野	民男	○	○	○	○	◎	若杉	守善	○	○	○	○	◎
小杉	守善	○	○	○	○	◎	若山	三泰	○	○	○	○	◎
小増	江千	○	○	○	○	◎	岡岡	太郎	○	○	○	○	◎
本宗	田三	○	○	○	○	◎	中村	省次	○	○	○	○	◎
中中	村三	○	○	○	○	◎	中谷	栄三	○	○	○	○	◎
中大	場勝	○	○	○	○	◎	大場	吉美	○	○	○	○	◎
大大	村精	○	○	○	○	◎	大沢	久二	○	○	○	○	◎
大大	沢久	○	○	○	○	◎							◎

